

地域における生物多様性保全活動の実態

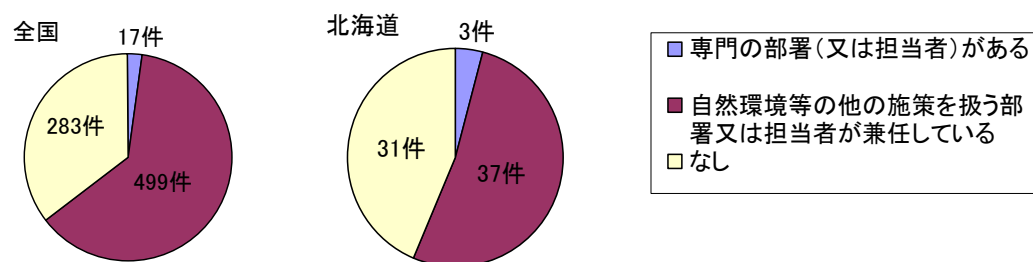
1. 概要

地域連携保全活動基本方針の検討に当たって、その基礎資料とするため、地域における生物多様性保全活動の実態について、地方公共団体に対するアンケート等により把握した。また、アンケート等によって収集した地域における生物多様性保全活動のうち、地方公共団体が積極的に関わるとともに、同基本方針の検討に当たって特に参考となるようなものについて整理した。

2. 生物多様性保全にあたっての地方公共団体の体制・施策

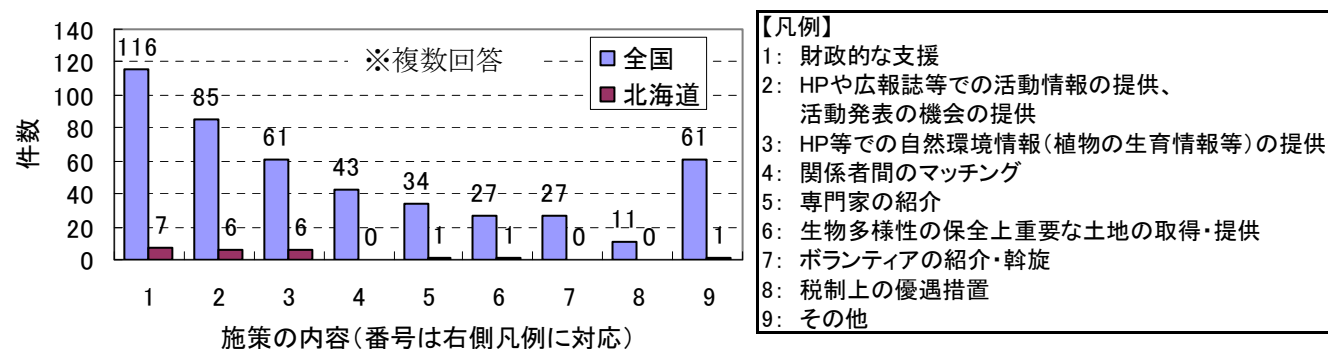
全国の地方公共団体(47都道府県、1750市区町村)にアンケート調査を実施した結果、1089件の回答を得た。現在までに集計した808件(うち北海道地方は71件)について、その結果概要を示す。

1) 生物多様性を扱う部署・担当者 ※有効回答数 799件(うち北海道71件)



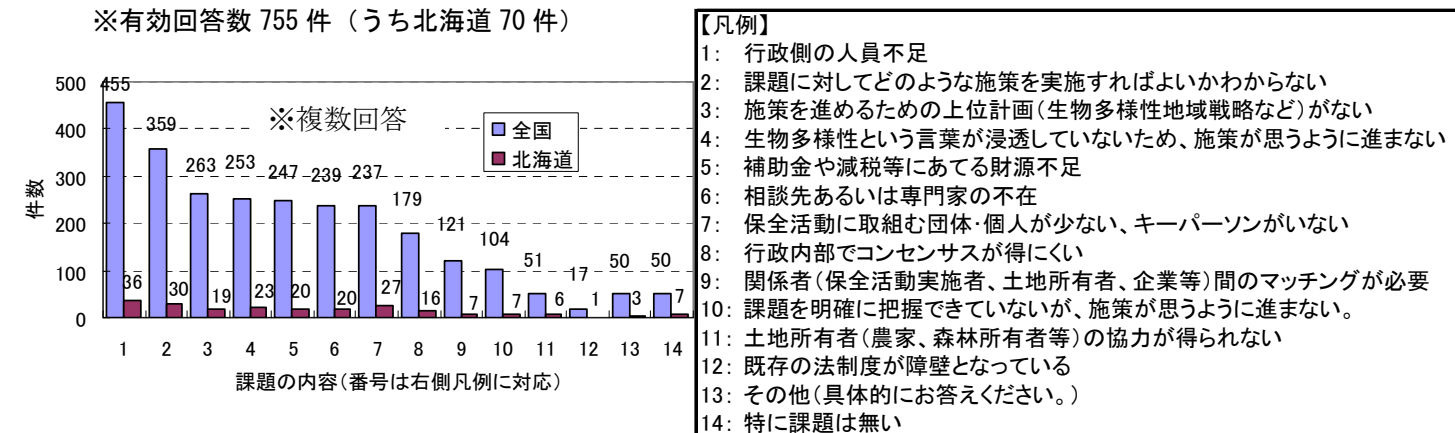
2) 地域における生物多様性保全活動を支援する施策

※施策が「有」と回答した地方公共団体 161件(うち北海道16件)



3) 生物多様性保全の施策を促進するにあたって感じている課題

※有効回答数 755件(うち北海道70件)



3. 地域における生物多様性保全活動の事例

1) 石狩浜海浜植生の保護・回復(北海道石狩市)

・・・身近な自然の保全、市民参加型の取組

■取組内容

レジャー利用や採取により破壊が進んだ海浜植生を保護・回復すること目的に、行政が車両進入防止柵や看板を設置し、石狩市が開設した石狩浜海浜植物保護センターを拠点に市民ボランティア団体等が植生保全のための各種作業、普及啓発イベント、ガイド等を行うなど、行政と市民が協働して活動を行っている。



保護により回復したハマポウフウの群生
(出典：石狩浜海浜植物保護センターHP)

2) アポイ岳保全・再生(北海道様似町)

・・・有識者や企業の参画、市民参加型の取組

■取組内容

国の特別天然記念物であるアポイ岳の保全・再生を目的に、官民一体となって、登山道整備や環境整備、PR活動(パンフレット作成、高山植物・盗掘防止看板作成)、講演会や野外学習会等を実施している他、特別天然記念物の指定区域に隣接する私有地を企業が提供して、そこで高山植物の再生実験を行っている。



ヒダカソウ
(アポイ岳ジオパークHP)

3) ナキウサギの鳴く里づくり(北海道富良野市)

・・・身近な自然の保全、有識者の参画

■取組内容

平成19年度から富良野のエゾナキウサギを象徴とした生物多様性の調査、教育普及、保全活動を推進することを目的に、市民・研究者・行政が協力・連携して、ナキウサギの生息調査、環境教育プログラム、観察会等を実施しており、一般市民への活動の輪の拡大を図っている。



ナキウサギ観察会の状況
(ナキウサギの鳴く里プロジェクト協議会HP)